

平成28年度青森県公社等経営評価書

(平成27年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)					
14	(一社)青森県畜産協会								
所管課名	農林水産部畜産課								
決算状況 (単位:千円、%)									
出資	資本金	県出資額	県出資比率						
	474,620	185,000	39.0						
決算	前期一般正味財産増減額	当期一般正味財産増減額	一般正味財産期末残高						
	▲ 5,890	▲ 984	80,226						
資産	資産	負債	正味財産						
	5,623,893	5,531,467	92,426						
財務分析指標				上記についての所管課の意見・評価					
正味財産比率	経常比率	総資産当期経常増減率	県財政関与率	補助金収入率	【目的適合性】	○			
1.64	95.85	▲ 2.23	0.20	61.22	畜産農家の高齢化や担い手不足、配合飼料価格の高止まりなど、畜産経営を取り巻く現状は厳しさを増しているが、国や県等が行う経営支援対策に係る補助・委託事業等を積極的に実施するなど、畜産経営の新たなニーズに対応しながら事業を展開している。				
受託等収入率	管理費比率	人件費比率	流動比率	借入金比率	【計画性】	○			
0.69	1.32	2.29	115.60	0.18	協会が自ら策定した「中期経営改善計画」に基づき、計画と実績の差異分析をはじめ協会運営の点検と改善を継続して行うことが必要である。				
経営評価結果				【組織運営の健全性】	○				
評価区分	C:改善措置が必要			中長期的な協会運営のためには、人材育成が必要不可欠であることから、職員の技術向上等のスキルアップが必要である。 また、業務間の配置転換等により、組織の活性化を図るなどの措置も検討する必要がある。					
<p><財務状況> 財務の状況については、平成22年度以降、6期連続して当期一般正味財産増減額が赤字となっているが、「中期経営改善計画」を策定し、歳入確保と歳出抑制に取り組んだ結果、平成27年度は赤字幅が縮小している。</p> <p><経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、おおむね妥当なものと認められる。</p> <p><改善事項等> それまでの中期経営計画を見直す形で、平成27年度に自主的に「中期経営改善計画」を策定し、財務基盤の強化に向けた各種取組を積極的に進めた結果、見直し後の計画より赤字額が抑えられるなど、計画を上回る成果をあげたことは評価できる。 今後も着実に経営改善を図っていくためには、当該計画の取組の進捗状況を定期的に把握・検証し、必要な見直し等を行うPDCAサイクルを活用した取組を継続して実施していく必要がある。</p> <p>また、当法人の実施する事業の公共性に鑑み、引き続き公益認定に向けた取組を進めることが必要と考える。</p>				【経営の効率性】	○				
				人件費総額については、中長期的なシミュレーションを実施し、適正な人件費水準を見極め、引き続き経費削減に取り組む必要がある。 また、各項目ごとの支出額を分析し、削減目標を設定するなどの取組が必要である。					
				【財務状況の健全性】	○				
				財源の多くが、各種の補助事業及び委託事業であり、引き続き積極的な事業実施が求められる。 また、自主財源の確保に努め、財務状況の健全性を保つような取組が求められる。					